

梅加工研究所の建設予定について

【内容】

田辺市の主な産業の一つに梅産業がありますが、最近梅の価格が低下し、農家の方、また企業にとって苦しいときだと思います。そこで、今作られている梅を生かすために梅干以外の加工製品の開発が必要だと思います。今後、梅加工研究所建設予定はありますか？

【回答】

紀南農協を始め、梅加工業者において、それぞれが加工研究施設（設備）をもっていることや和歌山県がうめ研究所を設置していることなどにより、そうしたところで独自に新商品の開発や梅の機能性成分の研究などが進められていることから、ご指摘の本市独自の梅加工研究所の設置ということは考えていません。しかし、ご指摘のとおり、現在、本市の基幹産業の一つである（梅の生産と加工業を含んだ）梅産業については、非常に厳しい状況におかれており、そうしたことを打破するには、梅の新たな用途の開発や販売流通チャンネルの拡大などが不可欠だということをお認識しています。そこで、本市としましては関係する団体とともに「紀州田辺うめ振興協議会」や「紀州梅の会」という団体を組織しており、そうした団体と連携しながら、様々な消費拡大に向けた取組を進めています。

（担当：梅振興室）